2017年2月25日(毎月5･15･25日発行)兵庫保険医新聞(昭和43年6月12日第三種郵便物認可)号外(年間購読料12,000円)

淡路支部ニュース

2017. 2. 25
No. 332

兵庫県保険医協会淡路支部
〒656-1313 洲本市五色町
鮎原西9-2 たかたクリニック内
☎0799-30-2272

在宅医療点数研究会

複雑な算定ルールをわかりやすく解説

淡路支部は2月18日（土）、洲本市文化体育館で在宅医療点数研究会（医科）を開催、医師・医療機関スタッフなど10名が参加した。講師は高田裕支部長（洲本市・たかたクリニック）が務めた（上写真）。

在宅医療点数算定のルールは、2016年改定で在宅時医学総合管理料の算定区分が回数、人数、重症度などにより細分化するなど、さらに複雑さを増している。

今回は、保団連発行の『在宅医療点数の手引（2016年度改訂版）』をテキストに、スライドを用いて主要な算定ルールについて解説した。支援診など届出が必要な点数や、特に分かりにくい「同一日」「同一建物居住者」「同一患家」の取扱いを具体的な例示を含めて解説したほか、月に1度主たるもののみが算定できる在宅療養指導管理料について留意すべき点を開設した。

具体的ケースによって算定の可否が決まるため、算定ルールについて疑問が生じた場合には、協会までお問い合わせいただきたい。

なお、テキストは1冊3000円（税込・送料別）で販売している。お問い合わせ、お申し込みは、協会TEL078-393-1803まで。

2017年2月25日(毎月5･15･25日発行)兵庫保険医新聞(昭和43年6月12日第三種郵便物認可)号外(年間購読料12,000円)

支部研究会　感想文

「医療機関で知っておきたい医療・福祉の役立つ制度」

制度を正しく理解し患者さん・家族の負担・不安の軽減につなげたい

淡路支部は1月21日（土）、サンライズ淡路（南あわじ市）で研究会「医療機関で知っておきたい医療・福祉の役立つ制度」を開催、医師、医療機関事務、コメディカル、ケアマネージャーなど37人が参加した。神戸女子大学講師の阿江善春先生が講師を務めた（**下写真**）。（前号に報道）参加者の感想文を紹介する。

今回の研究会に参加し、医療・福祉制度を「正しく」理解するということ、安心して在宅での療養・生活が行えるように支援すること、その人の社会的背景から制度を見ることが医療従事者として求められる必要な資質であるということを学びました。

事例を通して、誤った認識により制度の併用ができておらず、介護という問題を端的に捉えてしまったことが殺人事件にまで及んでしまったという事実を知りました。非常に残念であると感じたと同時に、日々の業務を行う中で知識不足により的確な判断や対応ができていなかった事例があったのではないかと自身の行動を見つめ直すことができました。

その患者・家族が“どういった”ことで困っているのか、“どういった”人生を歩んできたのか、きちんと向き合い、傾聴し、寄り添っていく姿勢をとることができれば自然と信頼関係の構築ができ、総合的な視点で問題点を把握することができるのではないかと思います。医療従事者一人ひとりの意識が変われば、その患者・家族らしい生活を支援するための大きな一歩に繋がるのではないかと考えます。少しでも患者・家族の負担や不安が軽減できるよう、今後も日々精進していきたいと思います。

（南あわじ市・平成病院
社会福祉士　小嶋　瑞生）